

男女共同参画社会づくりのための 佐賀県民意識調査

令和元年9月

調査主体 : 佐賀県健康福祉部男女参画・こども局
男女参画・女性の活躍推進課
調査実施機関 :

本調査への御協力をお願い

男女共同参画社会とは、「男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会（男女共同参画社会基本法第2条）」です。

佐賀県では、男女共同参画社会の実現のため、平成13年3月に「佐賀県男女共同参画基本計画」を策定し、積極的な施策を展開してきました。

この調査は、男女共同参画に関する様々な問題について、県民の皆様の率直なお考えや現状などを伺い、今後よりよい男女共同参画を推進するための基礎資料として活用させていただくものです。

そこで、佐賀県内にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に3,000名を抽出した結果、あなた様にこの調査をお願いすることになりました。

お答えいただいた内容は、すべて統計的な数値として処理した上で活用しますので、個人の回答がそのまま公表されることは一切ありません。また、本調査の目的以外に使用することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。なお、集計した調査結果は、後日、佐賀県のホームページ等にて公表する予定にしております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨を御理解いただき、御協力をお願いします。

5年前に行った「男女共同参画社会づくりのための佐賀県民意識調査」では、調査結果をもとに課題を抽出し、今後の男女共同参画施策の方向性を「第4次佐賀県男女共同参画基本計画」としてまとめました。詳細は、佐賀県庁ホームページ > くらし・子育て > 人権・男女共同参画・市民活動・UD > 男女共同参画・女性の活躍推進 > 第4次佐賀県男女共同参画基本計画を策定しましたをご覧ください。

ご記入上のお願い

この調査票の記入は、宛名ご本人様で行ってください。

回答は、この調査票に直接、黒または青のボールペンでお書きください。

回答は、質問ごとの選択項目から、あてはまる番号に○印をつけてください。

その他を選んだ場合は、その内容を具体的に()内にお書きください。

回答数が「3つまで」としている場合は、選択数は1つでも2つでも3つでも結構です。

調査票の返送にあたって

回答済みの調査票を同封の返信用封筒に入れ、

月 日 () まで

郵便ポストへ御投函ください。(切手は不要です)

また、下記アドレスからインターネット上でも御解答いただけます。その際は、解答用紙の返送は不要です。

お問い合わせ先

佐賀県男女参画・女性の活躍推進課 馬場

(住所) 佐賀市城内 1 - 1 - 5 9

(電話) 0 9 5 2 - 2 5 - 7 0 6 2

(メール) danjo-katsuyaku@pref.saga.lg.jp

18歳未満のお子さんがある方に

問5 あなたのご家庭では日常の子どもの世話(子どものために時間を使うこと全般)は主にどなたの役割ですか。次の中から1つ選んでをつけてください。

- 1 自分
- 2 配偶者(パートナー)
- 3 配偶者(パートナー)以外の同居する家族
- 4 自分と配偶者(パートナー)同等程度
- 5 その他(具体的にお書きください:)

18歳未満のお子さんがある方に

問5 - 1 あなたは日常の子どもの世話(こどものために時間を使うこと全般)をどのくらいの頻度で行いますか。次の中から1つ選んでをつけてください。

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に4~5日
- 3 週に2~3日
- 4 週1日
- 5 ほとんどしていない
- 6 全くしていない

全員に

問5 - 2 あなたは子どもの世話など(こどものために時間を使うこと全般)を行う日は、1日どのくらいの時間行っていますか。次の中から1つ選んでをつけてください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 全くしていない | 6 4時間程度 |
| 2 30分未満 | 7 5時間程度 |
| 3 1時間程度 | 8 6時間程度 |
| 4 2時間程度 | 9 7時間程度 |
| 5 3時間程度 | 10 8時間以上 |

職業を持っている方に

問 8 - 1 あなたの職業は、次のどれにあたりますか。1～13のうち1つ選んでつけてください。 出産休暇や育児休業中の方も、働いているものとお考えください。

自営業者 (会社経営者含む)	1 農林水産業 2 商工サービス業(各種卸・小売店、飲食店等サービス業) 3 自由業(開業医、弁護士等)
家族従業者	4 農林水産業 5 商工サービス業(各種卸・小売店、飲食店等サービス業) 6 自由業(開業医、弁護士等)
雇 用 者	7 管理職 8 専門技術職 9 事務職 10 労務職
無 職	11 主婦・主夫 12 学生 13 その他の無職

→ 雇 用 者 (7 ~ 10) に あ たる 場 合 は 、 下 の 欄 の 1 ~ 4 の 中 か ら 1 つ 選 び て つ づ けて 下 さ ば い

雇用形態は	1 正社員 2 短時間勤務正社員 3 非正規社員(派遣・契約社員・パート・アルバイトなど) 4 その他 具体的にお書きください ()
-------	---

職業を持っている方

問 8 - 2 あなたが現在職業を持っているのはどういう理由からですか。次の中から主な理由を2つまで選んでつけてください。

1 家業だから	8 社会の役に立ちたいから
2 生計を維持する必要があるから	9 生きがいを得たいから
3 住宅ローンや借金を返す必要があるから	10 働くのは人間として当たり前だから
4 将来に備えて貯蓄する必要があるから	11 仕事が好きだから
5 経済的に自立する必要があるから	12 時間に余裕があるから
6 自分の自由になるお金が欲しいから	13 その他 具体的にお書きください
7 自分の能力、技術、資格を生かしたいから	()

職業を持っていない方

問 8 - 3 あなたが今職業を持っていないのは、どのような理由からですか。次の中から主な理由を2つまで選んで をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 家庭にいるのが家庭生活のためにいいから | 8 自分に適した仕事がないから |
| 2 家事も立派な職業だから | 9 働く場所や仕事がないから |
| 3 年をとったから。退職したから | 10 結婚、育児に会社の理解が得られなかったから |
| 4 生活に困らないから | 11 特に理由はない |
| 5 自分の健康状態が思わしくないから | 12 その他 具体的にお書きください |
| 6 家事・育児との両立が困難だから | () |
| 7 病人や老親などの世話(介護)があるから | |

職業を持っていない方

問 8 - 4 あなたは今後、職業を持つことについてどう思いますか。次の中から1つ選んで をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| 1 今求職活動をしている | □ → 問 8 - 4 - 1、問 8 - 4 - 2 へお進みください |
| 2 いずれ職業をもつつもり | |
| 3 職業をもつつもりはない | → 問 9 へお進みください |

問 8 - 4 で 1 または 2 と答えた方

問 8 - 4 - 1 あなたが職業を持つ場合には、どのような点を重視して仕事を選びますか。次の中から主なものを2つまで選んで をつけてください

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1 能力や技術、資格が発揮できる | 7 簡単にできる |
| 2 収入がよい | 8 家庭生活と両立できる |
| 3 勤務時間が自分の生活に合っている | 9 地元である |
| 4 各種社会保険や厚生施設が整っている | 10 特にない |
| 5 通勤に便利である | 11 その他 具体的にお書きください |
| 6 会社の経営と雇用上の身分が安定して
いて、長く勤められる | () |

問8-4で1または2と答えた方

問8-4-2 あなたが職業を持つとすれば、どのような形態が望ましいとですか。次の中から1つ選んでをつけてください。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1 事業主（自分で経営） | 5 家業（店舗や農林水産業など）の手伝い |
| 2 正社員 | 6 その他 具体的にお書きください |
| 3 短時間勤務正社員 | () |
| 4 非正規社員（派遣・契約社員・パート・アルバイトなど） | |

全員に

問9 あなたは、女性が職業を持つことについて、どう思いますか。次の中から1つ選んでをつけてください。

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 ずっと職業を持っている方がよい | → 問10へお進みください |
| 2 結婚するまでは職業を持ち、あとは持たない方がよい | } → 2～5を選ばれた方
問9-1へお進みください |
| 3 子どもができるまで職業を持ち、あとは持たない方がよい | |
| 4 子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい | |
| 5 ずっと職業を持たない方がよい | |
| 6 その他 | → 問10へお進みください |
| (具体的にお書きください：) | |

問9で2～5を選んだ方

問9-1 あなたが問9で、2～5のいずれかを選んだ理由は何ですか。次の中から主な理由を2つまで選んでをつけてください。

- | |
|---|
| 1 女性は家事・育児・介護に専念し、家庭を守るべきだから |
| 2 女性は定年まで働き続けにくい雰囲気だから |
| 3 女性の能力は正當に評価されないから |
| 4 育児休業などの仕事と家庭が両立できる制度があっても、利用できる職場の雰囲気ではないから |
| 5 現在ある仕事と家庭が両立できるための制度だけでは不十分だから |
| 6 保育や介護などの施設が整っていないから |
| 7 わからない |
| 8 その他 (具体的にお書きください：) |

在職中または在職経験のある方

問 16 あなたは、過去5年間の間に職場において、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメント等のハラスメントにあったことがありますか。次の中からあてはまるものをすべてにをつけてください。

- | | | |
|----------------------------|---|-------------------------|
| 1 ない | → | 問 17 へお進みください |
| 2 セクハラにあったことがある | } | → 問 16 - 1 へ
お進みください |
| 3 パワハラにあったことがある | | |
| 4 出産や育児に関するハラスメントにあったことがある | | |
| 5 その他ハラスメントにあったことがある | | |
| (具体的にお書きください：) | | |

ハラスメントにあったことがある方

問 16 - 1 あなたは職場において、ハラスメントにあった際にどこかに相談したり、被害を訴えたりしましたか。次の中からあてはまるものをすべてにをつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 職場の相談窓口相談した |
| 2 人事等の職場の担当部署（相談窓口を除く）に相談した |
| 2 公的な機関（労働基準監督署や労働局等）に相談した |
| 3 同僚や上司に相談した |
| 4 家族や社外の友人に相談した |
| 5 弁護士に相談した |
| 6 退職した |
| 7 しばらく休んだ |
| 8 何もしなかった |
| 9 その他（具体的にお書きください：) |

全員に

問 17 あなたは、職場におけるハラスメントをなくすため、防ぐためにはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んでをつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1 職場における相談窓口の設置 |
| 2 職場における苦情処理機関の設置 |
| 3 職場における研修等の実施 |
| 4 就業規則などの社内規定へハラスメント禁止事項を盛り込む |
| 5 啓発資料の配布または掲示 |
| 6 職場における実態把握のためのアンケート調査等の実施 |
| 7 再発防止のための取組の実施 |
| 8 一般的な啓発や講演会等の実施 |
| 9 その他（具体的にお書きください：) |

◆社会における活躍について

全員に

問 18 あなたは、自分自身が管理職等への登用や企画・方針決定の場に参画することを望みますか。～の各項目にあてはまるものを1つずつ選んでをつけてください。

自分がその環境にいると想定してお答えください。

	望む	就く れたら 依頼さ い	望ま ない	断る れても 依頼さ ない	わから ない
職場の管理職	1	2	3	4	5
P T A会長、こども会会長	1	2	3	4	5
自治会長、庁内会長	1	2	3	4	5
自治体の審議会や委員のメンバー	1	2	3	4	5
国や地方自治体の議員	1	2	3	4	5

問 18 の①～⑤について、ひとつでも3または4と答えた方

問 18 - 1 あなたが、「依頼されても断る」「望まない」と答えた理由は何ですか。次の中から主なものを2つまで選んで下記理由記載欄に番号を記載してください。

- 1 知識や能力の面で不安があり、やれる自信がないから
- 2 責任が重いから
- 3 興味がないから
- 4 時間的に余裕がないから
- 5 経済的に余裕がないから
- 6 家族の理解や協力が得られないから
- 7 子育てと両立できる環境が整備されていないから
- 8 性別によって不利・不当な扱いを受けそうだから
- 9 女性ではなく、男性の役割だと思ふから
- 10 どうやったらいいかわからないから
- 11 周りにやっている人がいないから
- 12 その他 具体的にお書きください

(理由記載欄) 問 18 で3または4と答えたもののみ、理由を記載ください

職場の管理職		
P T A会長、こども会会長		
自治会長、町内会長		
自治体の審議会や委員会の委員		
国や地方自治体の議員		

◆配偶者からの暴力について

全員に

問 21 あなたはこれまで、配偶者や恋人から、次の ~ のことをされた経験がありますか。次の ~ の各項目にあてはまるものを1つずつ選んでをつけてください。

	以上 週に 1回	程度 月に 数回	程度 年に 数回	ある 過去 数回	ない ま った く
命の危険を感じるぐらいの暴力を受けた	1	2	3	4	5
医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	1	2	3	4	5
医師の治療が必要とならない程度の暴力を受けた	1	2	3	4	5
いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3	4	5
見たくないのにポルノビデオ・雑誌を見せられた	1	2	3	4	5
何を言っても無視され続けた	1	2	3	4	5
交友関係や電話を細かく監視された	1	2	3	4	5
「誰のおかげで生活できるんだ」とか「甲斐性なし」と言われた	1	2	3	4	5
大声でどなられたり、暴言を吐かれた	1	2	3	4	5
生活費を渡さないなど、経済的に押さえつけられた	1	2	3	4	5

問 21 でひとつでも「5まったくない」以外の答えを選んだ方に

問 21 - 1 経験した際、誰かに相談しましたか。

- 1 相談した → 問 21 - 2 へお進みください
2 相談しなかった → 問 21 - 3 へお進みください

問 21 - 1 で「1 相談した」と答えた方に

問 21 - 2 どこに相談しましたか。次の中からあてはまるもの全てにをつけてください。
(電話・面談いずれでも)

1 アバンセ(女性総合相談、男性総合相談)	9 民間の相談機関(NPO 被害者支援ネットワーク佐賀 VOISS 等)
2 婦人相談所	10 性暴力救済センター・さが(さが mirai)
3 法テラス	11 病院
4 警察	12 家族
5 法務局	13 友人
6 県の保健福祉事務所	14 その他 具体的にお書きください
7 市の福祉事務所	()
8 市町の相談窓口	

問 21-1 で「2 相談しなかった」と答えた方に

問 21 - 3 相談しなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるもの全てにをつけてください。

- 1 相談するほどのことではないと思った
- 2 自分にも悪いところがあると思った
- 3 自分が我慢すれば、何とかやっていけると思った
- 4 相談しても無駄だと思った
- 5 世間体が悪い、恥ずかしいと思った
- 6 相手の行為が愛情表現だと思った
- 7 どこに（誰に）相談してよいかわからなかった
- 8 相談したことが分かった時の仕返しが怖い
- 9 その他（具体的にお書きください： _____）

全員に

問 22 望まない妊娠を防ぐためには、どのようなことが大事だと思いますか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。

- 1 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施
- 2 女性のための相談窓口の整備
- 3 妊娠・出産・避妊・中絶に関する情報の提供
- 4 女性専門外来の充実
- 5 P T A 等に呼びかけるなど、保護者の意識啓発
- 6 その他（具体的にお書きください： _____）

全員に

問 23 男女間における暴力をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口の増設
- 2 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育や防止支援プログラムでの指導
- 3 学校で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育
- 4 加害者への罰則の強化
- 5 警察による介入・指導の強化
- 6 暴力を助長する恐れのある情報（テレビ番組、雑誌、ゲームソフト等）の取締りの強化
- 7 暴力を振るったことのある者に対し、再発防止のための教育
- 8 メディアを活用した広報・啓発活動の強化
- 9 被害者を発見しやすい立場にある学校・警察や医療関係者などに対する研修や啓発
- 10 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどの実施
- 11 その他（具体的にお書きください： ）

◆男女共同参画社会の実現について

全員に

問 24 あなたは、県や市町の行政機関は男女共同参画社会づくりのために何をすべきだと思いますか。あなたの希望するものをすべて選んでをつけてください。

- 1 「男女共同参画基本計画」や「男女共同参画推進条例」の策定・改定
- 2 各種審議会など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 3 各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成
- 4 学校教育における男女の平等と相互理解・協力についての教育の充実
- 5 企業や団体等のトップを対象とした男女平等や仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する意識啓発の充実
- 6 男女共同参画推進に関する情報提供、学習・研修、交流のための拠点機能の充実
- 7 女性向けの職業能力の開発や、職業訓練機会の充実
- 8 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスの充実
- 9 女性に対する暴力を根絶するための施策の推進
- 10 女性のための相談窓口の設置及び相談機能の充実
- 11 広報紙やパンフレットなどでの、男女の平等と相互の理解や協力についてのPR
- 12 その他（具体的にお書きください： ）

【全員に】あなたご自身のことについておたずねします

F1 あなたの性別は（ は1つ）

1 女性	2 男性	3 その他
------	------	-------

F2 あなたの年齢は（ は1つ）

1 10歳代	3 30歳代	5 50歳代	7 70歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代	8 80歳以上

F3 配偶者（パートナー）がいますか 事実婚を含む（ は1つ）

1 配偶者（パートナー）あり	→	F 4へお進みください
2 配偶者（パートナー）と離別	}	F 5へお進みください
3 配偶者（パートナー）と死別		
3 未婚		

F4（F3で「1.配偶者あり」）に を付けた方のみお答えください。）

あなたの配偶者の職業は、次のどれにあたりますか。1～13のうち1つ選んで をつけてください。 出産休暇や育児休業中の方も、働いているものとお考えください。

自営業者 （会社経営者含む）	1 農林水産業 2 商工サービス業（各種卸・小売店、飲食店等サービス業） 3 自由業（開業医、弁護士等）
家族従業者	4 農林水産業 5 商工サービス業（各種卸・小売店、飲食店等サービス業） 6 自由業（開業医、弁護士等）
雇 用 者	7 管理職 8 専門技術職 9 事務職 10 労務職
無 職	11 主婦・主夫 12 学生 13 その他の無職

雇用者（7～10）にあたる場合は、下の欄の1～4のうち1つ選んで をつけてください

雇用形態は	1 正社員 2 短時間勤務正社員 3 非正規社員（派遣・契約社員・パート・アルバイトなど） 4 その他 具体的にお書きください ()
-------	---

F5 18歳未満の子どもはいますか(は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

F6 配偶者(パートナー)以外の同居家族はいますか(該当するものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1 18歳未満の子ども |
| 2 18歳以上の子ども |
| 3 自分または配偶者(パートナー)の両親 |
| 4 自分または配偶者(パートナー)の祖父母 |
| 5 自分または配偶者(パートナー)の兄弟 |
| 6 孫 |
| 7 誰もいない(配偶者のみまたは単身) |
| 8 その他() |

